

議会だより

News Letter From Hachijo Town Assembly

No. **185**
2018.1.25

平成 29 年 10 月 9 日～12 日 行政視察



グリーンバレー大南氏によるレクチャー
(徳島県神山町)

(株)テクニカンにて (神奈川県横浜市)



第 4 回八丈町議会定例会

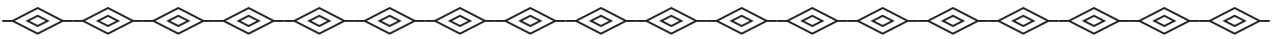
平成 29 年 12 月 7、8、11 日開催

目次

- 決算は健全、ただ長年の課題抱えたまま… …… 2P
- 一般質問 …………… 3P
- 本会議の質疑から …………… 8P
- 行政視察レポート …………… 9P

決算は健全

ただ、長年の課題抱えたまま…



今回の定例会は、平成29年度補正予算及び、28年度決算等を審議した。28年度決算は一般会計と4つの特別会計合わせて歳入103億1515万円、歳出101億7481万円、差引1億4034万円を翌年度に繰り越した。後期高齢者医療特別会計以外はすべて昨年より歳入・歳出とも減額となった。特に介護保険特別会計は制度開始以来、初めて決算額が前年を下回った。原因は、高齢者人口と要介護認定者の減少で、次の介護保険料改定時には、大きな増額はないだろうとの見込みが示された。

決算全体では、大口の寄付金等により自主財源が増え、公債の償還も増え、わずかだが財政健全化が進んだ。費用対効果や受益者負担を考え、締める所は締めて運営すれば今後も健全化が保てると監査委員からの報告があった。



上空から見た富士中学校

審議中には様々な質疑の応酬があったが、以下3つの課題の意見をまとめて紹介する。

◎富士中学校は避難所として機能するか

富士中学校体育館は建設当初から雨漏りがして修理した経緯がある。建物も古くトイレも使えず、避難所として適切か、災害時に機能するのかが疑問だ、との指摘があり、「今後予算を掛け調査し、多額の費用を掛けて改修するよりも、建て替えを検討したほうが良いのではないか」という意見も出た。

◎町営住宅の収入認定緩和を

坂上の戸建て町営住宅では家賃上昇が原因での引越による空き家が増えていく。子ども（高校生まで）のいる家庭は収入認定が緩和されているが、自営業者は年によって収入が上下し入居しにくい。数年分を平均して収入計算をするとか、伊豆諸島で特区を作



康政里第2住宅

るなどのさらなる対策を求める意見があった。町は国や都の補助を受け建設した住宅で、独自の緩和策は困難だと答弁し、議員からは、今後も緩和策を模索するように求めた。

◎ゴミ処理問題のスピードある解決を

ゴミ処理費用の負担や対策は事業者間で異なり不平等感が強い。事業系ゴミの料金改定や徴収対象者の拡大が必要ではないか。ゴミ処理問題協議会は問題を先送りせず、早めに結論を出すよう求めた。また、実働中の生ごみ処理機はコストが高いと聞けが、行政の支援も検討し継続活用を望むとの意見が出た。

(沖山恵子)

消防団員にレインスーツ(カッパ)の支給を

答 平成30年度に配布するよう準備する



山本 忠志 議員

◆所要時間 29分

消防団活動は、雨中での活動も想定される。

その任務遂行のために、団員全員にレインスーツの装備が不可欠と考えるが、町の所見を。

消防団員 消防団員の活動は屋外での活動が主であ



大切な役割を果たしている。その学校給食の無償化が全国で徐々に拡大しており、八丈町でも実現できれば、義務教育における家計の負担軽減を図り、子育て

答

無償化は難しいが、内容の充実や施設・設備の拡充に努めた

学校給食無償化の実現を

り、雨の中での活動も考えられるので、平成30年度の配付に向けて準備したい。まずは、八丈町消防団員被服貸与規程の見直しから進めていく。

世代の定住や転入にも繋がること期待される。

更に、子どもの6人に1人が貧困とされる今日、育ち盛りの子ども達が家庭の事情に関係なく栄養を摂取し、将来を担う子どもたちの身体づくりの根幹ともいえるべき役割を果たすことができる。

一方、我が国では現在教育費負担軽減のために「2兆円規模の経済政策パッケージ」が検討されており、「給食は教育の一環」との観点から、本町でも学校給食の無償化を検討すべきと考えるがどうか。

教育課長 学校給食法第11条に「学校給食の食料費は保護者が負担」と明記されているが、八丈町では独自に食料費の約10%を補助している。

今後、老朽化している給食センター施設の改修等、多大な経費が予想されており、給食費の無償化は難しい状況である。

なお、準要保護家庭に対しては無償化を実施してい

る。

教育長 子どもの食については家庭が責任を持つべきである、と考えている。行政としては、困っている家庭やアレルギー等の特別なニーズに対する支援や施設・設備の改修に力を入れていきたい。



本町の児童・生徒の学力や体力の現状はどうか

答

課題はあるが、向上も目覚ましい

文部科学省と東京都教育委員会による学力調査の結果が、それぞれ8月と11月

に公表された。

その結果について八丈町教育委員会の考えを伺う。また学力ばかりでなく体力測定の結果をどのように分析しているか、所見を。

教育課長 学力調査結果については、各校のホームページ上にて公表している。

一部の学年に課題が認められるが、国や都と比較しても概ね遜色ない結果であり、顕著な向上が認められる学校もある。

教育長 体力測定については、小学生から中一までは全国より高い数値であるが、中二・三では低下傾向にある。

登下校時の車での送迎を控え、徒歩通学を基本とする等、家庭の協力もお願いしたい。

消防団員に雨具の支給ができないか

答 全員に支給する



沖山 恵子 議員

◆所要時間 14分

は逃がす性能の良い装備を大会スタッフ用から始め、数年計画で揃えることはできないか。

答 消防長 雨具の被服貸与規程がなく、今まで支給していなかった。今後規程を改正し、消防団の名が入ったものを、一度に全員分を揃え支給する。

答 活動服のサイズが合わなくなった場合は、サイズ変更して支給してもらえないか。

答 活動服は毎年数十着購入しており、要望がある時は在庫の中から対応している。

答 消防団員に雨具を支給できないか。財政的な負担も大きいですが、水ははじくが汗

富士中学校体育館のトイレの現状は

答 現在使用しておらず、調査し改修する

今年の中学生議会で富士中学校生徒から、体育館のトイレを修繕してほしいという話が出た。

災害時の避難拠点としても重要な体育館のトイレが使えないのは問題だという、広い視点に立った素晴らしい意見だった。

町の回答は財政の厳しい中、校長と相談しながら善処するという歯がゆい回答だった。今後南海トラフなどの災害が起き、避難所を開設する可能性も高いと思う。また、スポーツ団体が夜間体育館を利用する場合、本校舎に入りトイレを使うという防犯上どうかと思う現状もある。

高齢者が避難した場合、日に何度も階段を上り下りして校舎のトイレに行くのは難しい。必ず改修して欲しい。東京都は障がい者用

トイレを、男女を問わず、赤ちゃんからお年寄り、体の不自由な人まで多目的に使える。だれでもトイレとして推奨している。障がい者用のトイレを一つ作れば、スペースも小さくすむ。災害時は、カギのかかる個室として、人に見られたくない授乳や着替えも出来る万能なトイレとなる。

答 体育館のトイレは以前から壊れているのは分かっているのになぜ直さないのか。今後の予定はどうなっているのか。

答 教育課長 富士中学校体育館のトイレは、諸般の事情により改修せず、使用することをしなかった。

しかし、防災の観点では必要な設備で、避難所のトイレ対策が重要だと聞いている。配管等を調査し、限られたスペースでどのように改修できるか、補助の道も模索しながら検討する。

答 改修するなら初めから障がい者用のトイレを考えて



トイレは体育館の右扉部分



ほしいがどう思うか。
答 調査しないと何とも言えないが、障がい者用のトイレも視野に入れ検討する。

旧末吉小学校の利用状況と今後の計画は

答 1年かけて内容を見直したい



奥山 幸子 議員

◆所要時間 49分

旧末小の利用については、看護学校や日本語学校の誘致に始まり様々な試験的な取り組みがあった。現在も進行中だが、事業の現状や今後の計画が住民に十分伝わっていないように思う。

問 学生の宿泊施設としての利用は。

答 企画財政課長 多目的交流施設として整備し、熱中小学校や学生の宿泊などを行ない、一定の整理がついたが、状況が変わったので

今後の活用を検討していきたい。宿泊施設としての利用は110名。上を目指していきたい。

問 熱中小学校の目的と現状は。

答 地方創生の施策として始めた。人的交流や講師との知的交流が目的。昨年は65名、今年は48名が参加する。

問 地域おこし協力隊の活動は。

答 末吉地区に住み、交流施設の利用を推進しつつ、地元の人との交流も深め地域に溶け込んでいる。

問 SOHOの誘致状況は。

答 現時点で誘致はできていない。

問 これまでに数千円単位の投資をしているのにもったいない。簡易宿泊所としての条件を満たすための投資を行ない、きちんとした施設にすべきだ。無料では町の負担が増える。利用者は実費だけでも負担すべきだ。

問 有料化だけが目的ではない。資格をとることがいいのか検討したい。

問 協力隊同士の連携を進めるためにも、もう2人くらい増やす考えはないか。

答 黄八丈の関係でもう一人募集を進めている。

コミュニティセンターの整備計画を明らかに

答 既存施設を改修しながら延命化をはかる

住民の福祉を目的に東京都が建てたものだが、現在は町の所有になっている。

今もそれぞれの施設は住民の憩いの場としての役割を果たしていると思う。しかし、テニスコートや体育館は一部改修されているものの本体の建物は老朽化が進んでいる。今後の整備計画はあるか。

問 ボウリング場の経営状況と今後の見通しは。

答 教育課主幹 住民や観光客に一定程度の利用があるが、収入は180万円。支出は650万円（内人件費580万円）で経営は厳しい。施設は老朽化しているが、改修しながら延命化をはかる。

問 テニスコート、体育館の利用状況は。

答 ともに一定程度の利用があり憩いの場となっている。

問 図書館を改修する予定はあるか。

答 教育課長 人口減少が進む中、世の中の流れで公共

施設の利用需要が変化していくので、既存の施設を改修・改善しながら有効活用していく。

問 図書館については、ハード面は無理としてもソフト面の工夫は必要だ。改修の考えはあるか。

答 収入、支出は精査したい。現在、図書館については改修の予定はない。



● こんな質問もしました

質問 道路拡張にともなう旧役場の跡地利用はどうなるのか。

答 建設課長 東京都による土地買収や移転補償費を算定中なので、それが出ないと町の方針は明らかにできない。

観光客に八丈産食材の通年提供を

答 食はおもてなしのひとつ



菊池 陸男 議員

◆所要時間 47分

作付面積、生産枚数、生産額等下落し、高齢化、古木化も進み、下り坂の一途を辿っている。

フェニックスロベレニイは、華がなく、マイナー要素も多い。一方、食料農産物、蔬菜(そさい)類は異次産業への波及効果や、いわゆる6次産業への展開があり、付加価値が高い。

何よりも観光に対する食材提供という根源へのアプローチが果たせる。島の農業のもう一つの道を開拓する必要を要望しておきたい。

議員行政視察で「凍眠凍結法」の視察をした。「凍眠法」とは、通常の空気を媒介とする冷凍技術ではなく、アルコールで液体凍結する技術である。特徴として、「一般冷凍庫の20倍の凍結スピード」「ドリップがでない」、旨味が損なわれず、菌の温床が排除される」「氷の結晶が一般冷凍の20〜40分の一で細かく、生と大差ない凍結が可能」というものである。

島の基幹作物はいうまでもなく花卉園芸・フェニックスロベレニイであるが、

シタバの新葉も凍結することで天ぷらとして年中提供が可能と思われる。うんまけ食材作るごんぐ運動を展開して、八丈ならではの食材を凍結保存して、通年的に観光客に提供する取り組みは、喫緊にして革命的な施策と思う。行政の支援が必要と思うが。

◎産業観光課長 観光客は、「見る」「感じる」「体験する」のほか、「食べる」をプラスすれば、おもてなしのひとつとなり、八丈島を一層満喫して喜んでもらえる。6次産業へ発展させる重要なことと認識している。生産物の保存方法に関係各所と相談していく。

国保制度の都道府県化に伴い、来年度の国保税の値上げに反対する

答 基本的には値上げはしたくない

国民健康保険制度改正により、八丈町及び被保険者の町民の負担増とならない

ようにすることが求められている。ところが、11月21日の東京都国民健康保険運営協議会の答申では、
①自治体の法定外繰入を解消していくとしているが、法定外繰入なしでは莫大な保険料負担になること
②収納率向上のため、強権的な取り立て、差し押さえを一層推し進めるもの
になっていることが特徴である。

答申された算定方法で東京都の試算によると、来年度の1人あたりの国民健康保険料(法定外繰入なし)は、府中市で1.6倍、全都平均では1.3倍に跳ね上がることになる。

◎東京都に対して、法定外繰入解消の強制を止めさせ、都独自の財政支援を町村会でも強く発言することを求めたいが。

◎来年度の八丈町の納付金はいくらか。

◎納付金は、3億1841万円の試算である。

◎町長は9月議会での質問に「八丈町は今でも滞納が多い中で、値上げするとなお滞納が増えていく。私はあげたくない。議会とも一丸になってやっていきたい」と答弁している。町長の姿勢を評価し支持するが、値上げに反対する。

◎町長 住民の所得水準は低く、医療負担水準は高い。私は一貫しているが、値上げはしたくない。国保運営協議会で十分論議してほしい。

◎住民課長

平成30年度東京都予算の要望で、制度改正の迅速な対応・公費負担の財政支援等、町村会と議長会で要望している。

八丈町の防災対応は万全か

答
 今後も機会をとらえて啓発していく



岩崎 由美 議員

◆所要時間 30分

さる5月「八丈島・青ヶ島の火山ハザードマップ」が伊豆諸島6火山防災会議で承認された。先般行われた大規模な防災訓練の成果を含め、東京都は今後避難計画を検討すること。

○先般の大規模な防災訓練は八丈富士の噴火及び南海トラフ地震による地震・津波を想定して実施されたものだが、その成果は。

○総務課長 参加関係機関が各状況において救助活動や災害対応支援等、それぞ

れの役割の確認ができたこと。また現在進行形の火山対策の一部を啓発することができたというのが今回の成果。

○防災計画策定の進捗状況は。

○昨年度から着手をしているが現在進行形の状態。八丈町の実情に合ったものにまとめている作業中である。

○「自分の身は自分で守る」が町のスタンスだ。情報を共有したり、話し合ったりする機会が全くない今の状況でそれが可能か。

○それぞれの住民の意識向上については、まだまだ地道な努力が必要。共助も大切だがそれ以前に自助の意

識付けも大切。今後も機会を捉えて、啓発をしていきたい。

○観光客に対する安全対策、食料の備蓄、宿泊施設への指導は。

○観光客の対策については観光協会を通じてハザードマップを配っているが、行き渡っているかという課題がある。

○東京都の火山防災協議会の中でも観光協会も交えて検討している最中。

○食料の備蓄については八丈の人口の約5食分が備蓄されているが、その時に応じて分配するという形にならないと得ない。今後考えていかなければならない。



自然体験型観光におけるガイドラインの策定を

答
 まずは陸域から初めて海域に繋げたい

自然体験型の観光スタイルが定着し、八丈島の自然を楽しむ人々は確実に増えている。ザトウクジラや八丈小島でのクワアシアホウドリなども、適正な保全をすることによって、今後の観光資源として大いに期待できる。

○自然を利用する上でのガイドラインの策定やルールづくりについてはどのような考えを持っているか。

○産業観光課主幹 自然景観などを適正に保全し、活用していくことは大事であり、ガイドラインやルール作りは必要であると考えている。事業者、関係機関と情報を共有し連携し、地域にあったルール作りを考えて行きたい。

○ガイドラインというのは観光の質を上げることもなる。陸域ではガイドラインづくりの動きがあるが、海域についてはどうか。

○総務課長 行政が押しつけるのではなく、環境を整えていくことが重要。まずは陸域から始めて、海域に繋げていければと考えている。町の役割としては、事業者が声をかけること。行政が押しつけるのではなく、協議の場作りなどの環境を整えていきたい。



ザトウクジラのブリーチング

第四回定例会の質疑から

団体客の来島数はどれくらい



水野佳子議員
団体集客負担金の補正増となつて
いる。昨年
と比べ、団
体バスを利
用しての観光客はどれくらい
の割合で来ているのか。

産業観光課主幹 今回の補正は、約50ツアー分くらい。昨年の補助対象が135ツアーだったので、当初は135ツアーの予算設定。今年度見込みで50ツアー1分増した。予想以上に11月もよかつたため、3月も補正をお願いする可能性がある。

自然科学学習推進事業は補助をしすぎでは



奥山博文議員
委託事業ではあるが、
監査委員からの定期監
査報告での
指摘で、1
人あたり約19万円の補助。他
と比べて補助しすぎでは。

事務長 外来で来た時に、問診票を記入してもらう。高熱等の疑いがある場合、外来フロアとは別のスペースに移動してもらい対応をしている。毎月、院内感染の会議等を行っており対策を練っている。

院内感染の対応は
奥山博文議員 町立病院への受診の際に、インフルエンザでの院内感染は防げるのか。

院内感染の対応は

奥山博文議員 町立病院への受診の際に、インフルエンザでの院内感染は防げるのか。

事務長 外来で来た時に、問診票を記入してもらう。高熱等の疑いがある場合、外来フロアとは別のスペースに移動してもらい対応をしている。毎月、院内感染の会議等を行っており対策を練っている。

インフルエンザワクチン

は足りているのか。等の質問あり。」

平成28年度一般会計・特別会計決算より

えこ・あぐりまーとを観光スポットに

水野佳子議員 えこ・あぐりまーとへ行くが、展示商品がさびしく、地産地消の商品も少ない。観光スポットにできるような支援できないか。

産業観光課長 地熱館同様、えこ・あぐりまーとの入場者数は増え、販売も少しずつ増えている。今後、来場者が増えること考え、島内販売ができる工夫等を検討していく。

山下巧議員



運営努力が
みられな
い。どのよ
うにしてい
くのか。

産業観光課長 指摘されたところを十分理解し、運営をしていけると話し合
っていききたい。

八丈町奨学資金(給付型)の現状は

山本忠志議員 八丈町では給付型の奨学金を行っている。給付型で申し込んだ学生はい
るのか。高校生に対して、周
知方法の改善はできないか。

教育課長 給付型で受けて
いる学生はいる。広報での
周知や高校で案内を配布し
てもらっている。

介護保険料はどれくらいに

奥山幸子議員 平成30年度
から介護保険料が改定される
が、保険料はあがるのか。

- ◎ 高額のふるさと納税があつたが、寄付した人から使い道の指定はあるのか
- ◎ 抗がん剤治療を町立病院でも行えるようにできないか
- ◎ その他
- ◎ いつも旧役場裏で水が流れているのはなぜ
- ◎ 地図情報の航空写真図の手数料が高いのでは
- ◎ 決算で町民税の法人分があつた理由は
- ◎ なども質問しました。

《発議》

国民健康保険制度改正により八丈町及び被保険者に過大な負担が生じないことを求める意見書

提出者…菊池睦男
賛成者…沖山恵子、小川 一、山本忠志、岩崎由美、奥山幸子、奥山博文、小澤一美、水野佳子

原案可決

台風21号・22号の連続での台風塩害によるフェニックス・ロベレニー等被害復旧の支援を求める意見書

提出者…菊池睦男
賛成者…浅沼憲春、小川 一、山本忠志、岩崎由美、奥山幸子、小澤一美、水野佳子
原案可決

徳島県神山町 視察日 平成29年10月10日
「神山プロジェクト」

「地方創生」のキーワードで検索すると徳島県が元氣だという。徳島空港から車で約40分、町に近づくにつれスタダチ畑が増えていく。そんな人口約5500名の町で行われている「神山プロジェクト」は人口減少に悩む全国の自治体から注目されている。

自治体の元氣度のバロメーターのひとつは「視察件数」と考えるが、平成28年度はなんと245件もの視察があつたそうだ。そもそもこのプロジェクトは、1927年に米国から贈られた「青い目の人形」の里帰りをさせようと集まつた人々から始まつた。過疎化の現実を受け入れ、数ではなく内容で質を高める事業の3つの柱は、働く場所を選ばないサテライトオフィスの誘致、町の将来のための事業家の誘致、人材育成。事業を運営するNPO法人グリーンバレー理事長大南信也氏のヒアリングで特に印象的だったのは「何かを始めようとする人に対し『それは難しい』と言うタイミングを少しガマンすること。地域に入つて

何かをしようとする時、その言葉がひとつのハードルになるからだ。

神山アーティスト・イン・レジデンス、えんがわオフィス、WE EK神山、KOYA：詳細は割愛するが、たくさんの新しい試み地域に潤いをもたらせていた。個人的に訪れたカフェ・オニヴァさんで、町が新たに建設している公営住宅「大埜地（おのじ）」の話しになった際、「それ、俺もつくっているんですよ」と嬉しそうに話してくれ



カフェ・オニヴァ

た地元青年に、この町の未来を感じた次第である。
報告者 岩崎由美

神奈川県横浜市 視察日 平成29年10月11日
「農水産物の流通拡大・保存などの冷凍機器プロジェクト」

冷凍機器の「凍眠（どうみん）」を製造販売しているのは、株式会社テクニカン（代表取締役社長 山田義夫氏）。同社は、「魚や肉は冷凍すると味が落ちる」「冷凍食品は美味しくない」というイメージを払拭すべく、冷凍技術の向上に取り組んだ。奇跡の冷凍法「凍眠」リキッドフリーザーの開発・製造に成功した。「凍眠」の最大の特徴は、凍結品から解凍時にドリップ（旨みや水分を含む液体）が発生せず、冷凍前と変わらない美味しさ、食感、新鮮な色合いのまま、食卓に届けることを可能にし、国内のみならず海外でも高い評価を得られている。

社長のデモンストレーションを見せていただき、食肉・刺身・果物・ゼリーをパック詰めにして、エタノールに投入して数分で凍結でき、細胞を壊さなければどんな解凍方法で解凍してもドリップは出ない。実際、パックの中の食肉を上から強く叩いてもドリップは出ず、解凍した果物を試食したところ、普通に空気凍結したものは

サクサクとした食感だったが、凍眠で凍結させたものは滑らかな食感で美味しかった。

一般的な空気凍結した食品と急速凍結した食品を比べると、細胞が壊れていない食品は「こんな滑らかなのか」と驚いた。銀座の千疋屋など有名な店舗でも導入され、全国1500社と海外との取引もあるとのこと。

一般的な空気凍結と液体での凍結では、熱伝導率が2000倍も違うそうで、同じ温度だと5〜10倍もリキッドフリーザーの方が早く固まるそうだ。

この技術は八丈町でも応用できないのか、凍結しておけば魚や野菜、果物が一年中提供できるのではないか。島の産業に寄与できる技術ではないのかと考えた。

報告者 浅沼憲春

町ナビ

昨年12月に行われた高校生議会で、八高生の定住指向に関するアンケート結果が明らかになった。島に定住したいと考えるのは、20代のうちが7.7%、30代で15.4%、そして「いつかは」が53.8%。半数以上は「将来島に帰る」という未来図を描いているが、島での定住を考えない生徒も4割近くいた。16年度に創設された町のUターン給付型奨学金制度は、大学などを卒業して原則3年以内に島に帰り、最低3年間就労すれば奨学金の返済義務が免除される。現在3人が貸与を受けているという。



主な議決事項

12月定例会 平成29年12月7・8・11日開催

- 専決処分事項の報告及び承認について（平成29年度八丈町一般会計補正予算）ほか承認1件
- 平成29年度八丈町一般会計補正予算ほか補正予算6件
- 八丈町手数料条例の一部を改正する条例
- 平成28年度八丈町一般会計決算認定についてほか認定4件
- 平成28年度八丈町一般会計継続費精算報告について
- 平成29年度八丈町教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価（平成28年度分）について
- 議員の派遣について（フリージアまつり表敬訪問）

主な会議事項

全員協議会 平成29年12月11日開催

- JETプログラムによる国際交流員招致について
- 国民健康保険制度改革 新制度に向けたスケジュール（案）について
- 町営住宅設置備品運用の変更について

全員協議会 平成29年12月19日開催

- 八丈島歴史民俗資料館移転・整備検討委員会の報告について
- 八丈町公民館使用料改定について

議会運営委員会 平成29年11月30日開催

- 平成29年第四回八丈町議会定例会について

総務文教委員協議会 平成29年12月11日開催

- 八丈島歴史民俗資料館移転・整備検討委員会の報告について
- 八丈町公民館使用料改定について

編集後記

来島者数が伸びています。50%前後だった羽田-八丈島の搭乗率が、4月-9月は59.6%とのこと。メディアで紹介される機会が多かったことでもあります。企業課（町営バス）やホテルの営業活動、SNSによる島内外での情報発信が功を奏した結果でしょう。周遊型、体験型

を問わず、求められる旅の形は「八丈島ならではの」のもの。リピーターが増えて初めて島の旅は本物になります。食、自然、文化、くらし…当たり前の中にある資源をどう磨いていくか？ 上昇傾向にある今こそ、考え行動していく必要があると思います。 岩崎 由美

発行人 八丈町議会議長 土屋 博

編集 議会だより編集委員会 委員長 奥山幸子 委員 沖山恵子 山本忠志 岩崎由美

〒100-1498 東京都八丈島八丈町大賀郷 2551-2 tel 04996-2-2788 fax 04996-2-4437